

名理会だより

<https://meirikai.wp.tcp-ip.or.jp/>

令和5年9月12日
名古屋市理科教育研究会
第109号
事務局 広報係



名理会「夏季研修会」が開催されました



8月4日（金）、黄金中学校にて、名古屋市理科教育研究会夏季研修会が開催されました。

名古屋市理科教育研究会 会長 橋本 新 先生より、ご挨拶をいただいた後、全体会、分科会、交流会が行われました。

会長の橋本先生からの挨拶では、「研修とは、決められているから、義務だから行うのではなく、目の前の子どもたちのために楽しい授業、分かる授業をつくろうという思いで、日々研鑽をすることである」というお言葉をいただきました。提案者の実践をもとに議論することなどを通して、本日の研修会を充実した会にしようと参加者一人一人の意識が高まりました。



【挨拶をする橋本会長】

提案者と研究テーマ（全体会）

提案	提案者	研究テーマ
提案1	鬼木 大 先生（味鏡小）	自然の事物・現象を説明できる理科学習 ～より妥当な考えをつくりだす学習活動を通して～
提案2	鬼頭 一晃 先生（川中小）	自らの学びを調整する力を育む理科学習
提案3	山内 健吾 先生（福田小）	主体的に探究することができる児童の育成
提案4	寺本 充孝 先生（楠小）	自ら問題解決ができる児童の育成



【研究協議の様子】

全体会では、4人の先生に提案をしていただきました。どの先生方も「育てたい児童像」を明確にして実践を進めていました。4者4様の実践ではありましたが、どの実践からも、熱い思いが伝わってきました。その後の、研究協議では、「グループ分けはどのように行ったのですか」「児童が立てた学習計画が学んでいく中でずれた場合はどうしましたか」など、もし自分が実践するとしたら、という視点で、多くの質問が出されました。

全体会の最後に、指導室指導主事 中村 浩二 先生から指導・助言をいただきました。冒頭で今の理科教育で大切にしたい視点、①指導と評価の一体化のための学習評価の在り方②探究の過程を踏まえた授業改善③理科における ICT の効果的な活用、の話がありました。今回の提案は、これらの視点が意識されており価値の高いものであるとの評価をいただきました。



【指導・助言の様子】

提案者と研究テーマ（分科会）

区分	提案者	研究テーマ
第1 分科会	岩井 春樹 先生（若水中）	充実感をもつことができる学びの工夫
	梅里 優一 先生（なごや小）	見通しをもって観察・実験に取り組む児童の育成
第2 分科会	安田 征弘 先生（瑞穂小）	主体的に問題解決することができる児童の育成
	常行 健太郎 先生（守山西中）	仲間とともに科学的に課題を解決する力を高める理科学習
第3 分科会	渡邊 佑真 先生（明正小）	主体的に問題解決に取り組む理科学習
	長谷川 航 先生（上社中）	主体的に考え科学的に課題を解決しようとする生徒の育成 ～探究学習・協働学習システムを活用した意見の集約と共有を通して～
第4 分科会	寺田 達彦 先生（極楽小）	仮説を基に進んで追究する児童の育成
	上村 拓也 先生（山山中）	学んだ知識を活用できる生徒の育成

それぞれの分科会ごとに、2人の先生に提案をしていただきました。質疑・応答、指導・助言により、提案者も参加者も学びが深まりました。

なお、**当日配付された提案資料が必要な方は、千鳥小学校・塚本浩二先生までご連絡ください。**

また、今年度は、分科会終了後に交流会が行われました。提案者から実践の苦勞を聞くなどざっくばらんに話をして、参加者同士の交流を深めました。今後の研究・研鑽の仲間づくりができました。



【分科会の様子】



【交流会の様子】



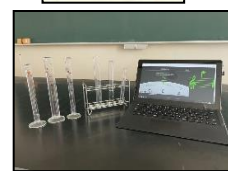
【交流会の様子】

<実践研究部(授業づくり研修会)について>

- 1 日時 10月25日(水) 5時限目 12:50～13:40
- 2 場所 緑区 扇台中学校
- 3 内容 授業公開 12:50～13:40 研究協議 13:50～
学年および単元 中学校1年生「音の性質」
授業者 扇台中学校 小比賀正規先生

4 授業の紹介

本実践では、「探究の過程」を重視し、生徒が科学的に探究するために必要な資質・能力を育成できるよう単元構成を工夫します。単元末の本時は、モノコード等の既習事項を踏まえた上で、「試験管笛」の音の高さを決める要因を明らかにすることを課題とします。実際に試験管やメスシリンダーを用いながら、主体的に探究活動に取り組んでいる生徒の姿をお示しできればと考えます。



今年度も中学校理科の授業づくりに焦点を当てて研究を進めています。中学校理科に携わる会員のニーズに寄り添った授業づくりのサポート、授業力向上に取り組みたいと考えています。1学期には3回、授業公開に向けた準備・検討を中心に進めるとともに、日ごろの理科授業の相談など、授業実践について相互に学び合いました。活動の様子は、名理会のHP(右上の二次元コード)の「名理会実践研究部『みんなで創る理科授業』」に紹介しています。

実践研究部会に参加してみたい・授業公開を参観したい方は、これまでの参加者に連絡するか、こちらの申込フォーム(右下の二次元コード)にて参加表明してください。日時など、詳細をご連絡します。

